

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	薬業科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	漢方医学	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2 年	学期及び曜時間	前期	教室名	
担 当 教 員	稲垣 順也	実務経験と その関連資格			
《授業科目における学習内容》					
登録販売者に求められる水準の漢方処方(方剂)に関する知識を、教科書の記載に沿って身に付けていく。 目標は、過去問の正答を独力で選択できるようになることである。					
《成績評価の方法と基準》					
出席点：20 % 授業での取り組み方・課題の提出状況・提出物に対する評価点：10 % 期末試験の得点：70 %					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
配布プリント 『試験問題作成に関する手引き』に該当する教科書					
《授業外における学習方法》					
配布プリントや教科書を使って復習し、登録販売者試験への準備をしていくこと。					
《履修に当たっての留意点》					
処方それぞれの独自性に注目し、各処方へのイメージを育てながら勉強していきましょう。					
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	下欄の事項について学び、登録販売者試験の当該範囲の問題に正答できるようになる。	配布プリント 教科書	
		各コマにおける授業予定	漢方の特徴、漢方薬使用における基本的な考え方、漢方処方製剤に関する相互作用と受診勧奨。		
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	下欄の事項について学び、登録販売者試験の当該範囲の問題に正答できるようになる。	配布プリント 教科書	配布プリントや教科書を使った復習。
		各コマにおける授業予定	かぜ薬(麻黄湯・葛根湯・小青竜湯・桂枝湯・香蘇散・小柴胡湯・柴胡桂枝湯)としての漢方処方製剤。		
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	下欄の事項について学び、登録販売者試験の当該範囲の問題に正答できるようになる。	配布プリント 教科書	配布プリントや教科書を使った復習。
		各コマにおける授業予定	口腔咽喉薬(桔梗湯・駆風解毒散・駆風解毒湯・響声破笛丸・白虎加人参湯)としての漢方処方製剤。		
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	下欄の事項について学び、登録販売者試験の当該範囲の問題に正答できるようになる。	配布プリント 教科書	配布プリントや教科書を使った復習。
		各コマにおける授業予定	鎮咳去痰薬(甘草湯・半夏厚朴湯・柴朴湯・麦門冬湯・麻杏甘石湯・五虎湯・神秘湯)としての漢方処方製剤。		
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	下欄の事項について学び、登録販売者試験の当該範囲の問題に正答できるようになる。	配布プリント 教科書	配布プリントや教科書を使った復習。
		各コマにおける授業予定	解熱鎮痛薬(芍薬甘草湯・桂枝加芍附湯・桂枝加苓朮附湯・薏苡仁湯・麻杏薏甘湯・呉茱萸湯・当帰四逆加呉茱萸生姜湯)としての漢方処方製剤。		

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	下欄の事項について学び、登録販売者試験の当該範囲の問題に正答できるようになる。	配布プリント 教科書	配布プリントや教科書を使った復習。
		各コマにおける授業予定	解熱鎮痛薬(釣藤散・疎経活血湯)や胃の薬(平胃散・安中散・六君子湯・人参湯・理中丸)としての漢方処方製剤。		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	下欄の事項について学び、登録販売者試験の当該範囲の問題に正答できるようになる。	配布プリント 教科書	配布プリントや教科書を使った復習。
		各コマにおける授業予定	腸の薬(大黄甘草湯・大黄牡丹皮湯・麻子仁丸・桂枝加芍薬湯)や痔の薬(乙字湯・芍帰膠艾湯)としての漢方処方製剤。		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	下欄の事項について学び、登録販売者試験の当該範囲の問題に正答できるようになる。	配布プリント 教科書	配布プリントや教科書を使った復習。
		各コマにおける授業予定	泌尿器用薬(猪苓湯・六味丸・八味地黄丸・牛車腎気丸・竜胆瀉肝湯)としての漢方処方製剤。		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	下欄の事項について学び、登録販売者試験の当該範囲の問題に正答できるようになる。	配布プリント 教科書	配布プリントや教科書を使った復習。
		各コマにおける授業予定	循環器用薬(苓桂朮甘湯・三黄瀉心湯・七物降下湯)や内服アレルギー用薬(茵陳蒿湯・十味敗毒湯・消風散・当帰飲子)としての漢方処方製剤。		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	下欄の事項について学び、登録販売者試験の当該範囲の問題に正答できるようになる。	配布プリント 教科書	配布プリントや教科書を使った復習。
		各コマにおける授業予定	内服アレルギー用薬(荊芥連翹湯・辛夷清肺湯・葛根湯加川芎辛夷)や口内炎用薬(茵陳蒿湯)や外皮用薬(紫雲膏・中黄膏)としての漢方処方製剤。		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	下欄の事項について学び、登録販売者試験の当該範囲の問題に正答できるようになる。	配布プリント 教科書	配布プリントや教科書を使った復習。
		各コマにおける授業予定	睡眠導入薬(抑肝散・抑肝散加陳皮半夏湯・柴胡加竜骨牡蛎湯・桂枝加竜骨牡蛎湯・酸棗仁湯・加味帰脾湯)としての漢方処方製剤。		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	下欄の事項について学び、登録販売者試験の当該範囲の問題に正答できるようになる。	配布プリント 教科書	配布プリントや教科書を使った復習。
		各コマにおける授業予定	小児鎮静薬(小建中湯)や婦人薬(桃核承気湯・桂枝茯苓丸・加味逍遙散・当帰芍薬散・温経湯)としての漢方処方製剤。		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	下欄の事項について学び、登録販売者試験の当該範囲の問題に正答できるようになる。	配布プリント 教科書	配布プリントや教科書を使った復習。
		各コマにおける授業予定	婦人薬(四物湯・温清飲・柴胡桂枝乾姜湯・五積散)や滋養強壮保健薬(十全大補湯・補中益気湯)としての漢方処方製剤。		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	下欄の事項について学び、登録販売者試験の当該範囲の問題に正答できるようになる。	配布プリント 教科書	配布プリントや教科書を使った復習。
		各コマにおける授業予定	のぼせと肥満症に用いる薬(黄連解毒湯・清上防風湯と防已黄耆湯・防風通聖散・大柴胡湯)としての漢方処方製剤。		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	理解度確認にて 60 % 以上の正答数を得ることができる。	配布プリント 教科書	配布プリントや教科書を使った復習。 期末試験対策。
		各コマにおける授業予定	総まとめ		